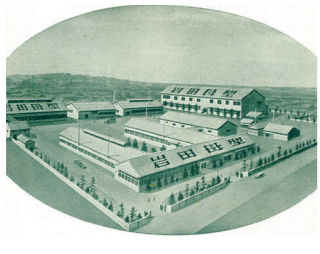
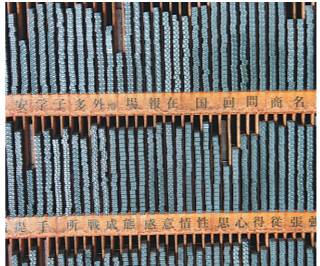


写真で見るイワタの歴史



岩田母型製造所が活字生産開始

株式会社イワタは、創業者岩田百蔵によって1920（大正9）年設立された、岩田母型製造所が始まりです。活字文化の基礎を支えました。



新聞用扁平活字を開発（第1世代）

1941（昭和16）年、新聞用扁平書体を開発。より多くの情報を伝える新聞書体の基礎を作りました。「イワタ新聞書体」の源流になりました。



UD新聞書体を開発（第2世代）

2009（平成21）年、高齢者にも読みやすい「イワタUD新聞書体」を開発。社会の高い評価を受け、多くの新聞社で採用がすすんでいます。

イワタ NEWS

2015年[平成27年]

7月22日[水]

大安

株式会社イワタ

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-2-9 滝清ビル7F TEL: 03-5820-3161 FAX: 03-5820-3174 URL: http://www.iwatafont.co.jp

Weather forecast table for various locations including Tokyo, Osaka, and others, with icons for weather conditions and temperature ranges.

この紙面は、神奈川新聞社様のご協力により作成いたしました

“第3世代”の新聞書体めざすミンゴ

女性・若者の読者拡大に向けて



代表取締役社長 水野 昭

1930（大正9）年の創業以来、新聞向け書体（フォント）の開発を手がけてきた株式会社イワタは今年、「第3世代」の新聞書体といえる新フォント「ミンゴ」を発売した。若者の新聞離れを食い止めるべく、女性・女性にも受け入れられる新感覚の書体を開発。新聞社に広く採用してもらおうと、日本の新聞文化発展に寄与したいと考えている。

新聞販売拡大に向け、ともに新たな挑戦を

2009年に開発したUD（ユニバーサルデザイン）新聞書体は第2世代。このミンゴは第3世代の新聞書体として受け入れられると確信しています。と水野社長は語る。

ミンゴはもとも電子媒体向けのフォントとして開発されたんです。と話すのは、今年6月に就任したばかりの水野昭新社長。ミンゴの普及・販売は、社長として初めて手がける大仕事であるだけに、ミンゴへの思いは熱い。

中国では「小豆」が根強い人気を誇っているそう。黒柳徹子さんの自伝的物語「窓際のトットちゃん」で、日本の販売部数800万部を、年内にも上回るのではないか、そんな予感があふれる。かかるといって、そんな予感があふれる。かかるといって、そんな予感があふれる。

水田に彩り 開成・金井島 祭り

開成町金井島の「あじさいの里」で6日恒例のあじさい祭りが始まった。青や紫、白の花5千株が水田の緑色に彩りを添えている写真。



記事部分は「イワタUD新聞明朝」「イワタUD新聞ゴシック」

囲み記事は「イワタミンゴNPM」「イワタミンゴNPB」

を使用しています

片桐義子の花言葉

文：片桐義子 絵：沢田真理

2008年5月～2009年4月神奈川新聞連載の人気コラム「片桐義子の花ごよみ」が「花言葉」として本になりました！「花日記」から4年、待望の姉妹編。



A6判・400頁・並製本・オールカラー 定価：1,260円（税込）ISBN978-4-87645-444-0

お求めは、書店もしくは新聞販売店で！ 神奈川新聞社 〒231-8445 横浜市中区太田町2-23 企画編集部 TEL.045(227)0850 FAX.045(227)0785

Advertisement for 'Flower Language' featuring illustrations of flowers and their meanings. Includes text like 'どんなときも幸せでいたい大切な自分への贈り物' and 'ブルーベリー', 'コンボルプルス', 'チョコレートコスモス', 'カルミア'.